

安全データシート

改定日：2024年8月31日

1 化学品等および会社情報

・ 製品名	クサカベ油絵具 モノクロームクールNo.1, モノクロームクールNo.2, モノクロームウォームNo.1 モノクロームウォームNo.2, シルバーホワイト, シルバーホワイト（軟）, ファンデーションホワイト, ファンデーショングレー, ファンデーションオーカー, ファンデーションアンバー
・ 供給者の詳細	株式会社クサカベ
住所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町3-3-8
担当部門	技術開発部
・ 緊急時の電話番号	048-466-7321
・ FAX番号	048-465-3058

2 危険有害性の要約

・ GHS分類	物理化学的危険性 分類されない 健康有害性 発がん性：区分1B 生殖毒性：区分1A 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：区分1（血液系、腎臓、中枢神経系） 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：区分1（血液系、腎臓、中枢神経系） 環境有害性 水生環境有害性（慢性）：4
・ 注意書きも含む GHSラベル要素 絵表示	
注意喚起語 危険有害性情報	危険 発がんのおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 血液系、腎臓、中枢神経系に障害 長期又は反復ばく露による血液系、腎臓、中枢神経系の障害 長期的影響により水生生物に有害のおそれ
・ 注意書き 安全対策	必要に応じて個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または禁煙をしないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
応急措置	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当を受けること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さず、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。 飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師の診断、手当を受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。 曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

- 漏出物は回収すること。
保管 容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。
破棄 内容物、容器は、法規制に従って廃棄すること。
-

3 組成、成分情報

・物質

单一化学物質 混合物の區別	混合物		
危険有害成分	化学式または一般名	濃度	CAS
	塩基性炭酸鉛	70-80%	1319-46-6

4 応急措置

- ・吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
水でうがいをさせる。
- ・皮膚に付着した場合 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・眼に入った場合 すべての汚染された衣類を脱ぐこと。再使用する前に洗濯すること。
水で数分間注意深く洗うこと。
- ・飲み込んだ場合 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
嘔吐が自然に生じた場合は気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
飲み込んだ場合は、水で口内を洗う（その人の意識がある場合のみ）。
飲み込んだ場合は、無理に吐かせず直ちに医師の診断、手当てを受けること。
-

5 火災時の措置

- ・適切な消火剤 泡、二酸化炭素、粉末、乾燥砂。
- ・不適切な消火剤 棒状水、水噴霧。
- ・特有の危険有害性 燃焼の際は、一酸化炭素、亜硫酸ガスが生成される。また刺激性、腐食性のガスを発生する恐れがある。
- 高温の金属表面等に接触した場合、発生した蒸気によって燃焼や爆発が起きる可能性がある。
- 極めて燃え易い。消火後、再発火する恐れがある。
- ・特定の消火方法 火元への燃焼源を絶つ。
- 周囲への設備等に散水して冷却する。
- ・消火を行う者の保護 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
-

6 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 作業者は適切な保護具（『8.曝露防止および保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 全ての着火源を取り除く。
- 環境中に放出してはならない。
- ・環境に対する注意事項
- ・除去方法
- 回収 床面などにこぼれた場合には、直ちに空容器に回収した後、ウエス等拭き取る。
- 破棄 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って破棄する。
- 火気厳禁。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。
-

7 取扱および保管上の注意

- ・安全な取扱いおよび保管上の注意

